

2022 年 9 月 28 日

ADK、グローバル基準の気候変動管理・会計プラットフォーム 「Persefoni」を導入

株式会社 ADK ホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野 伸一、以下「ADK」)は、グローバル基準の気候変動管理・会計プラットフォームのリーディングカンパニーである Persefoni AI, Inc.(本社:米国アリゾナ州テンピ、CEO 兼 共同創設者:ケンタロウ・カワモリ)が提供する、温室効果ガス排出量算出と分析を行うクラウドサービス「Persefoni」を導入いたしました。



PERSEFONI

近年の地球温暖化進行により自然災害の増加や生態系の変化がみられる中、事業活動を行う企業において脱炭素化への対応が急務となっております。ADK においても、グローバル展開する製造業をはじめとしたお取引先様とのサプライチェーンを構成する一員として、脱炭素化の視点を踏まえた経営方針の策定や具体的なアクションを実行すること、ならびに中長期的な気候変動の影響を低減するための様々な活動を実践することが重要だと考えております。

そのような環境下、ADK ではグループの主要事業拠点を対象に、温室効果ガス排出量を算出できるプラットフォーム「Persefoni」を導入いたしました。「Persefoni」導入により、ADK グループは国際基準に準拠した信頼性の高いデータとして温室効果ガス排出量を算出・蓄積し、脱炭素社会における情報開示の推進に向けた有効な手段として活用いたします。あわせて、従来は製造業が中心であった温室効果ガス排出量算出を ADK が実施することを契機に、環境問題に対する社員の意識向上を図るほか、ESG 全般に関する理解促進を通じて事業上での活用にも繋がると考えております。

ADK ホールディングス 社長室長の吉松香奈子は以下のように述べています。

「GX(グリーントランスフォーメーション)において我々が直接的にできることに加え、コミュニケーションビジネスを営む我々ならではの取り組み、例えば社会への啓発などを通じて、GX を社会へ浸透させる役割を担えると考えています。そのためには、Persefoni 導入によって見えてくる課題認識や解決策を通じて、我々自身が GX を自分事として捉えることが重要だと考えています。」

パーセフォニ・ジャパン カントリー・マネージャーの三浦健人は次のように述べています。

「海外市場へも広く展開している総合広告会社である ADK グループに、パーセフォニを導入していただき、大変嬉しく思います。国際標準である GHG プロトコルに従い、温室効果ガス排出量の可視化をきちんと実現し、ADK グループの GX 戦略をサポートしていきます。その結果、ADK グループが、海外投資家や各種の気候関連イニシアチブからより高い評価を獲得し、更なるブランド価値の向上・国際的な競争力の強化が実現できると考えております。」

ADK は、『すべての人に「歓びの体験」を。』というパーパスのもと、持続可能で歓びの体験に満ちた社会の実現に向けて、今後も様々な取り組みを進めてまいります。

＜ADK ホールディングスについて＞

グループ全体戦略・運営方針の立案ならびに事業会社の管理・監督、およびグループのバックオフィス機能や、働きやすい環境作りや健全な働き方の推進、インターナルコミュニケーションの活性化などのコーポレート・コミュニケーション機能などを提供する純粋持株会社です。

＜Persefoni(パーセフォニ)について＞

パーセフォニは、気候変動管理・会計プラットフォーム(CMAP)のリーディングカンパニーです。企業や金融機関は、国際的な炭素会計基準である PCAF や GHG プロトコルに対応する当社の SaaS 型ソリューションを利用することにより、国内外のステークホルダーや規制当局が求める気候変動に関する情報開示業務を、高い信頼性、透明性、利便性をもって行うことができます。パーセフォニのプラットフォームは、「炭素分野の ERP(経営資源を統合的に管理し、経営の効率化を図る手法)」であり、スコープ 1 から 3 までの(自社や国内外のサプライチェーン全体での)炭素管理の一元化を実現し、企業は従来の経理業務と同様の厳密さと信頼性をもって、炭素会計・管理業務を進めることができます。

<https://persefoni.com/ja>

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK ホールディングス 社長室 広報グループ 平尾/丸山 e-mail: adkpr@adk.jp